

除角時の疼痛コントロール 2

鎮静剤・局所麻酔・消炎鎮痛剤をうまく使う

今回は除角ペーストによる除角を紹介します。
除角ペーストとは強アルカリの軟膏で、角の生えてくる場所に塗り角芽細胞を焼くことで角を生えてこなくする薬品です。

除角ペーストをつかった除角の利点欠点

<利点>

- ・子牛にかかるストレスが圧倒的に少ない
- ・低コスト
- ・作業的に楽

<欠点>

- ・毛をバリカンで刈らなくてはならない
- ・塗った後2~3時間はピリピリとした痛みがあるようで、頭を壁などにこすり付けることでペーストが取れてしまい除角に失敗するケースがある
- ・生後1ヶ月くらいの子牛にしかできない（角が大きくなるとダメ）
- ・塗った後2日ほどは子牛同志が接触できないようにする必要がある（舐めるのを防ぐ）

これらの欠点をなくすために、**除角ペーストを使った除角の際にも、ぜひ鎮静剤の使用をお勧めします**。鎮静剤を使うことでバリカンでの毛刈りも楽にできます。また疼痛のある2~3時間眠ってしてくれるのでこすり付けてペーストが取れてしまうこともありません。

①鎮静剤を注射

1ヶ月令以内なら
1~1.5ml
筋肉注射

バリカンで
毛刈りする



②小豆大のペーストを指にとり、角の生えてくる所に塗る。100円玉くらいの範囲で十分。広範囲に塗りすぎると余計な皮膚まで焼いてしまい痛みが大きくなる。



③塗り過ぎは過度に組織を焼いてしまいます。下地（皮膚の色）が見えなくなる程度に塗れば十分。塗り込むように塗る。



④ついでに副乳頭もチェック。もしあればハサミでカットして消毒。



※注意 ・必ずゴム手袋をして作業ください ・ペーストを塗る範囲と量に気をつけてください
・塗ってから2日は子牛同志が接触できないように飼ってください
・除角ペーストは（株）MPアグロ で販売されています